



創業当初が最大のピンチ 想いはあり、やることはない

——PFS創業のお話からお聞かせください

宮崎 しっかり語った方がいいよ。

星野 はい(笑) もともとね、いた会社があつてね。そこでも子ども支援してたんだけど。

宮崎 そのころからの関わりだったね。

星野 そうそう。その会社は良くも悪くもちゃんとか社だったから自分のやりたいこと、手を差し伸べたいと思ってる子どもたちすべてには対応できなかった。ある種、中途半端な関わり方っていうのができなくて、別の団体を立ち上げたっていうのがPFSのスタート。

宮崎 その時から今の理事はみんな、何かの形で関わっていたな。

星野 ずっとお世話になってます。

宮崎 最初は北区の小さな会議室みたいなところだったわけ。

星野 そうですね。柳原通商店街の本店に入り口付近にある物件を借りました。ちっちゃい、この会議室よりも小さい事務所でした。

宮崎 懐かしいね。

星野 そこで事務所兼居場所としてスタートしたんだけど、本気で今の理事のみんなにおんぶに抱っこ状態。売り上げはない、信用もない、時間だけがたっぷりあるみたいな(笑)。

宮崎 でも星野さんと大山さんの気持ちがよくわかったんです。障害や辛い気持ち、背景がある子どもたちに関わりたかった。

——星野さんを突き動かす子どもたちへの思いとは？

星野 ずっと思ってるけどね。今ある社会ですごく完成された形に見えるんだけど、年齢が下がれば下がるほどすごい生きづらいんだよ。大人たちが作った社会だから当たり前だけど、子どもたちが自由に発言をしたりとか、自由な発想をしたりとか、アクションを起こしたりとかはあんまり許されない。みんなと一緒じゃないと駄目だっていう同調圧力のよな。

宮崎 子ども目線になって一緒に物事を考えるような社会ではないかもね。

星野 集団の中で適応できないと、どんどん弾かれていくとか、子どもが自分らしく社会の中で生きることが難しいっていうのが、どこか当たり前のようになっている。それがどうしても何か納得できないあつて。別に勉強できない子が運動できれば、それだけで褒められることだと思うし、運動できなくなつて、本を読むのが好きなら一生懸命、本を読めばいいんだろ。うし。当たり前のように子どもたち二人ひとりを大切にできる社会や大人が存在しないように思う。僕はどちらかというと、そういうところで排除されてきた子どもたちの対応っていうのをずっとやってきたから、僕がもしやめてしまつたら、多分その子どもたちはどこにも居場所はなくなるし、誰も理解してくれないし、余計に感じてしまうよ。

宮崎 信じてみよう、託してみようって星野さんに希望を見出す子どもたちが少なからずいたからね。

星野 僕には十分なお金もなかったし、発言力もなかったし、この地域における何の役割もなかった。何もなかったんだけど、その部分を担わないと社会は変わっていくかならうなっていう、思いだけはあつたんだ。だから、さっき話したような子がたくさんいるこの社会で、ひとりの大人として当たり前のように子どもたちを大切にできる団体ができたいいなって思ってた。

宮崎 そうですね。星野さんがやりたいことをやるようになったのも行政の力があつての部分もある。



特に資金の面では、1年目、2年目の状態が続いてたら、とくに星野さんが飢え死にしちゃつてもおかしくないからね(笑)。

星野 笑えないです(笑)。

宮崎 そして星野さんに力を貸してくれる人が増えてきた。

星野 そうですね。今後、取り組みたいところは多分そこです。愛知PFS協会というより、僕が担うところは『人財の輩出・育成』なのかなって。今から生まれてくる子どもたちに何ができるのか、子どもたちを本気で大切にできる社会を目指して、一人ひとり

宮崎 当初、2年数か月は本当に売り上げがなかった。でも、その2年数か月の中で構想がまとまったんだよね。名古屋市の事業を受託するっていう方向性が定まったことでようやく一息ついたような気持ち。

星野 まったくもつてゆつくりなペースで(笑)。

宮崎 ほんとだよ。でも星野さんの直観力、そして熱意。どんな背景、事情がある子どもたちにも分け隔てなく関わっていく熱い気持ちが周りも巻き込んでいくんだよ。だから、どんなにお金がなくて食べるものがなくても生き抜いて耐えることができたんじゃないかな。

星野 本当に宮崎さんに何度食べさせてもらったか。間違いなく、今の理事全員、もしひとりでもいなかったらPFSはなかった。

家出少年2人との出会いと PFSの支援のベース

——柳原商店街時代のエピソードをお聞かせください

星野 最初にそこを利用したのは、2人の家出少年だった。うち1人は当時、過去の記憶がすごく曖昧で記憶の欠落がところどころあつた。僕が関わる少し前にその少年たちが発見されたとき、戸籍とか住民票とか手掛かりになりそうな情報も全く発見できなくて、警察や保護した機関が本人の記憶をたどりながら、探したんだけどやっぱり出てこなかった。それから2人セットでいろんな施設を転々とするんだけど、どこ行っても問題を起こして追い出される。名古屋市内、どこも受け入れてくれるところがなくなつたっていうときに子若(名古屋市内)でも若者総合相談センターから僕に「ちよつと会って欲しい人がいるんだけど」って連絡が来た。状況とかよくわかってなかったけど、とりあえず向かったケース会議では、今まで関わった施設の方とか、専門家とかたくさんの方が集まつて、僕もいて、その2人がいて、それが、少年2人との最初の出会いだった。

宮崎 どんな印象だったの？

の大人に何が足りないのか、それを考え動ける、そんな組織であり続けていけたらと思う。そのためのバックアップを、宮崎さんが僕にしてくれたように僕は今いるスタッフやこれから入ってくるスタッフに向けてやっていけたら。

——今回の広報誌もその一環ですか

星野 PFSがやってきたことが8年かけて段々と名古屋市内において、ある程度の信頼を得るようにはなれてきたと思うんだよ。その中でもここ3、4年は『星野』ではなく『PFS』という名前が広まってきたのは今のスタッフが積み上げてきた実践そのもの。子どもたちが楽しそうに過ごしていたり、「元氣もらえた」って笑顔で話してくれたら、手伝ってくれた支援者さんが「ここに来たらみんなフレンドリーで元氣もらえる」とか。外から見てもそういう風に思ってくれる場所になれているんだな、ってすごく嬉しくて。今回、広報誌を9年目で初めて作ろうと思つたのは現場や実践が、ここに書いてあること以上のレベルでできていると自信をもつて言えるようになったから。この広報誌をきっかけにPFSを知つて、僕たちがまだ会えていない子どもたちを繋いでくれたり、あるいは関わってくれたら、頭の片隅に入れてくれたらそれで十分に感謝です。

宮崎 そうだね。一番大切な熱意の部分が形になったり、本当は直接話して伝えたいんだけどね。それでも、何かのきっかけになるならできるとはどんなやつていきたいね。素敵な物語がたくさんできて、スタッフみんながPFSの理念や思いを連綿と体現してくれると嬉しいね。立派な人財がたくさん育つていけるように我々もまだまだ頑張らないとね(笑)。

星野 いやだ、もう頑張らたくない(笑)。

宮崎 最後にお互い一言ずつお願いします

星野 子どものことも大事だけど、自分のことも大切にしてください。

星野 今までもこれからも感謝しかないです。本

当にいつもありがとうございます。

星野 とにかく目が印象的だった。

宮崎 目？

星野 なんていうんだろうね、すごく大人しくしてたんだけど、絶対にこいつらは敵だ、信用はできないっていう感じがすごかった。2人からしたら怒れるとか、またどつか知らないところに連れていかれるって思っちゃうよね。

宮崎 たくさんの人が集まれば集まるほど自分の声は伝えにくくなるしね。

星野 そうなんです。彼らは自分のことを話すことはあまりしなかった。覚えていないものもあるけど、もし覚えてたとしても話さなかったかもしれない。それぐらい大人への不信感を抱えていた。彼らの抱える課題や悩みを彼ら発信ではなく、どうしても大人発信にせざるを得なかったのも仕方なかったんだけど、彼らの不信感を助長させてしまつたかもしれない。

宮崎 星野さんはその会議で何を話したの？

星野 僕はほとんど話してないですよ。予め話を聞いていただけで彼らとは初対面だったの。初対面だからこそ色々知っている大人っていう立ち位置にならないようには意識しました。

宮崎 たしかに、知らない人が自分のことを知ってるのはあんまり気分のいいものじゃないかもね。そんな中だと自分が犯罪者のようにも感じてしまうかもしれない。会議のなかでは彼らの今後のことが話し合われたんだよね？

星野 そうですね。ただ、会議に参加した機関では対応が難しいということがわかつたので、全員



Miyazaki Masaaki

これからのPFS

で対応してくれる所を探すことになりました。寝る場所だけは何とかなつたから、その子どもたちは日中、毎日うちの居場所に来るようになった。っていうのが最初の利用者だったな。

——その2人はどうなったんですか？

星野 それからも問題ばつかり起こす(笑) 僕と大山先生とボランティアスタッフとかで夜な夜な探しに行ったり、警察まで行ったりしながら、2人の対応を続けてつた。この時期を「本当にどうしようもない」と見捨てず、時間を一緒に過ごすだけの大人っていう存在がどれほど大切なものなのかっていうのは振り返れば改めて実感できる。

宮崎 ノウハウというか経験で培われた対応力になるのかな。

星野 むしろ逆かな。このとき僕は何にもノウハウ的なものがなかった。単に一緒にいて、「一緒に遊んで、一緒に話して、一緒に謝りに行つて、一緒に飯食つて、今日の夜どうしようねっていう話をして、泊まれるところにまた頼みに行つて、泊めさせてもらうとか、そんなことを毎日毎日繰り返してたんだよね。そしたらいつの間にか『そんな大人がいるんだ』って、2人が徐々に他の大人にも心を開くようになった。そんな経験が今のベースに繋がっているかな。

宮崎 その子たちに今も会うことはあるの？

星野 電話で話すくらいですね。僕よりよっぽどしっかりした大人になりました(笑)。

子どもたちを本当に大切に できる社会を目指して

——今後、取り組んでいきたいことはありますか

星野 この地域で足りないな、創り上げないな、と思うことを分らないながら進めていくうち、名古屋市のがやろうとしている子どもに対する施策と自分たちが進めている施策の親和性が高い事業があつた。一つは生活困窮世帯や生活保護世帯への無償学習支援、学びの機会をどんな子どもにも平等にもつてほしいという思いがあつたんだよね。あとは彼らが本

一般社団法人愛知PFS協会 理事

宮崎 正章 (みやざき まさあき)

皆様へ

当法人はボランティアスタッフの方々・官公庁の皆様・同様の目的を持つ他法人の皆さん、その他あらゆる関係各位のご支援を受けて、法人設立の理念を現実のものにすべく活動して参りました。事業体制も稚拙な段階ではありますが、徐々に整いつつある段階にあります。これもひとえに皆様方のご支援の賜であり衷心より深くお礼申し上げます。皆様方のご支援を心の糧として、今後もなお一層、子供たちとそのご家族に寄り添う事業姿勢を追求して参ります。

1976 金沢大学理学部卒業
1976 農林水産省入省
1983 農林水産省退官
1983 株式会社ノエビア(化粧品)入社
1984 取締役就任
2001 ビジネスコンサルタントを立ち上げ
2004 経営学修士(MBA)取得
2007 株式会社ユタカファーマシー入社
2014 常勤監査役就任

皆様へ

僕は子どもたちに何かを教えたり、諭したり、導くようなことはできない人間です。多分、したくないんだと思います。それでも今日まで、たくさんの素敵なスタッフに支えられて子どもたちの応援ができる体制を作り続けることができました。「ありがとう」と改めて言うのは気恥ずかしいのでここに載せておきます。笑。まだまだ粗さが残る広報誌ですが、お手にとってご一読いただいた皆様に深い感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。

一般社団法人愛知PFS協会 代表理事

星野 智生 (ほしの のりたか)

未来高等学校名古屋学習センター センター長
名古屋みらい高等学院 学院長

1997 朝日大学経営学部情報管理学科卒業
1997 ドラッグストア入社
2002 ヘルスケア関連企業入社
2006 教育関連企業入社
2014 一般社団法人愛知PFS協会設立
2014 学校法人河原学園未来高等学校
名古屋学習センター設立
2014 名古屋子ども・若者支援
地域協議会委員就任
2016 名古屋子ども・若者支援
地域協議会代表者会議委員就任
2021 名古屋子どもの社会参画の
よりどころとなる指針策定懇談会委員就任

『あなたにとって名古屋みらい高等学院ってどんなところですか?』

山本 ということだね、本日は「名古屋みらい」を代表するやんちゃ坊主ふたりに来てもらいました。

モモセ おい！

タカハシ 山田ア！

山本 えー、訂正します。『名古屋みらい』が誇る優等生ふたりに来てもらいました！

モモセ そういって、山田。

山本 まあまあ…。というか、君らもたいていよ。俺は『山田』じゃなくて『山本先生』なんだから。もはや『先生』でもない『山本』ではない。

タカハシ いまさら『山本先生』って呼べないよな。

モモセ 俺は3年間で1回も呼んだことない。

山田 まあ、それくらい先生と生徒との距離が近いことが、この学校の良いところということだね…。

タカハシ そういうことにしてやるわ(笑)

(閑話休題)

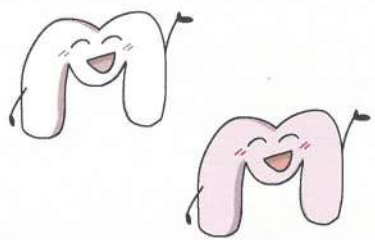
山田 二人とも学校の活動には協力してくれるじゃない？去年は休みの日に、わざわざ学校の引越を手伝ってくれたし、今回のインタビュも快く引き受けてくれた。

タカハシ まあ、ヒマだからな。

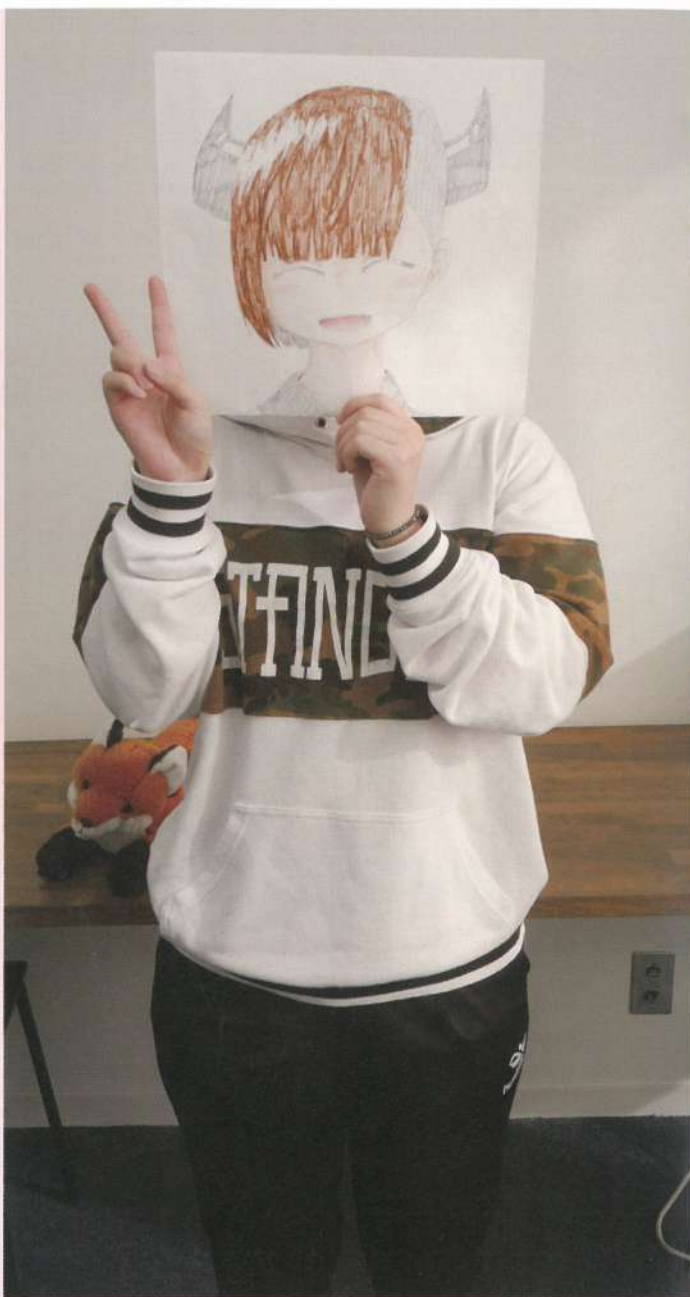
モモセ 恩売つと思うて。

山田 (笑)でも、そうやって学校に来るのはイヤじゃないんだよね。

モモセ 俺は自分のレポート終わっただけ、人と話したいから学校来るね。夜に急に来ても、ここは追い出されないし。どんな理由があっても受け入れてくれる。



公式マスコットキャラ「Mくん」



—— この学校に入学したきっかけを教えてください！

もともと全日制の高校に通ってたんだけど、人間関係に悩んで退学しちゃって。自分が相談しやすい雰囲気を出してたのか、いろんな子が話しかけてくれてね。でも、みんなの話を聞いているうちに、自分のほうがヘトヘトになっちゃった。

それからしばらくフリーターを続けていたところで、たまたま相談に行った区役所の方が紹介してくれたのが、この高校だったの。自分も「高校くらい卒業しておいたほうがいだろうな」とは思っていたし、うちは経済的に苦しかったけど、PFS には補助金制度があって助かるなあって。どんな学校かあまり深く知らないまま入学したんだ。

—— この学校の当初の印象は？

まず、学校に「遊び場」があることにびっくりした。勉強する教室のほかに、大きなテレビやゲーム機が置いてある部屋があって。そこで在校生の子たちがおしゃべりしてたり、ボードゲームで遊んでたりしててね。それで気がついたら、遊んでいる子たちの輪の中に自分も入ってて(笑) 登校初日からトランプや人生ゲームをみんなとする時間が楽しくて、勉強以上に友だちと過ごす時間のために、毎週学校に通ってたよね。

—— 学校のことで思い出に残っていることは？

私は昔から気分のアップダウンが激しいほうで…。1年生の終わりに、家にひきこもっちゃった時期があったね。それも人間関係の悩みが原因で。テストやレポートからも逃げてしまって「もう学校やめようかな」とも思ってたんだけど、そんなときに先生が家まで訪問して、私の悩みを聞いてくれた。それで最後には「もう一度がんばってみようか」と背中を押されたんだよね。しんどい思いしながらも、先生といっしょにレポートをやり遂げて、最後は「やってよかった〜！」ってスッキリした気持ちになったのを覚えてるなあ。

2年生のときもね、大変だった。「今年は頑張るぞ〜！」とスタートしたのはいいのだけど、また最後に息切れしてしまって…。そのときもまた、先生が声をかけてくれて、夜遅くまでレポートに付き合ってくれた。全部終わったあと、一緒に公園で花火をしたのもいい思い出かな。困ったときに、ここの先生は何度でも助けてくれるんだなあ、って思った。

—— 将来の夢は？

体育の先生になりたい。人とかかわるのも、スポーツも好きだし。自分も悩みを乗り越えてきた過去があるから、その経験を未来の子どもたちに伝えられたらいいなって。あとね、山田っち(注:聞き手の山本)みたいに、おもしろい先生になりたい(笑)。いつも楽しそうだなあ。私もそんな大人に、になりたいと思います！以上！

タカハシ 先生もそうだけど、事務所で顔を

る大人がよく話しかけてくれるよね。星野さん

も会えば話すし。

モモセ 話しやすい人が多いもんな。仕事

場だと上の人には気を遣わなきゃいけないけ

ど、ここでは自由に話せる。

山田 なるほどねえ。この生徒の印象

はどう？

モモセ 見た目のインパクトが強い。

タカハシ 治安が悪そう。

山田 君らも半年前は髪の色、真っ赤

だったんだから他人事じゃないのよ(笑) その一

方で、不登校を経験したような子も学校には

いるじゃない？

モモセ そうだね。この前もヤンチャな連中

とおとなしそうな女の子たちがいっしょに、ゲーム

してたもんな。

タカハシ 不思議っちゃ不思議だね。

山田 普段は交わらない生徒同士が、こ

こでは一緒に楽しく過ごしてたりするよね。そ

ういうことができるのはどうしてだと思う？

モモセ ここだと話しやすいのかな。「よく

知らんけど、相手も何かの事情があつてここ

に来てるんだらう」って思うし。少なくとも自分

にはそういう部分があるから、話してて共感し

やすいのかも。

タカハシ あと上下関係がないよね。先輩・

後輩って気にしないし、先生にも気を遣ってな

い。

(「Mくん」のキャン)

山田 さて、高校に入ってから、自分の中

で変わった部分ってある？この前も、新人生の

子にレポート教えてくれたじゃん。自分も勉

強苦手なのに、一緒になってくつこうな時間考

えてくれたよね。

モモセ まあヒマだったし(笑) 変わったと

こつていうと、まあ、反省できるようになっ

たかな。何かトラブったとき『自分が言い過ぎ

たかな?』って考えたり。

タカハシ いろんな人に、自分から話しか

けられるようになったかも。

モモセ そうね。学校の人間関係でトラブ

ル起しちゃったこともあったけど、先生が間

に入ってくれて、仲直りできたこともあったし。

タカハシ いろんな経験してきたかもな。

山田 まあね。そもそも君らみたいなや

んちゃ坊主が社会で問題を起さないよう指

導するのが、われわれ教師の仕事であつて…

モモセ&タカハシ 山田ア!!!

(終)

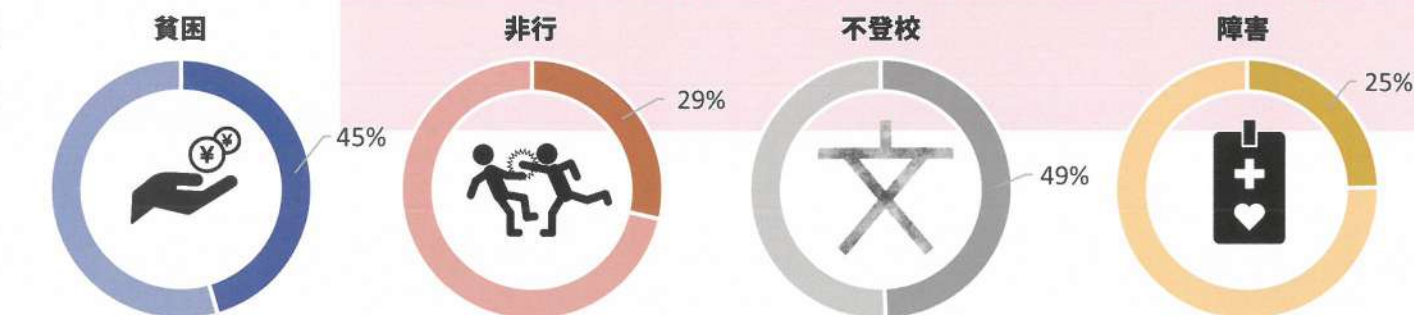
	2014 (初年度)	2018	2020
入学者数	4 名	2 0 名	2 3 名
在籍生徒数	4 名	3 9 名	4 5 名

当校に繋ぐ主な関係機関
※名古屋市内各区役所、少年院、児童相談所、名古屋市子ども・若者総合相談センター、グループホーム など

名古屋みらい高等学院は営利目的の広報活動を行なっていないため、入学者は公的、または民間の支援機関からつながるケースがほとんどである。活動が続けるなかで少しずつ各支援機関からの信頼を得て、8年前にはわずか4人であった生徒数も現在では50名を超えるまでになった。本校に期待される役割はますます大きくなる一方で、目の前の生徒一人ひとりに向き合い、寄り添いながら問題を解決していくという基本的な姿勢は変わっていない。

学校法人河原学園 未来高等学校 名古屋学習センター[高校卒業資格取得 単位制・通信制サポート校]

名古屋みらい高等学院



主要な課題として挙げた上記4項目に着目するだけでも、複数の問題が重なり合っている子どもが多いことがわかる。たとえば、家庭の貧困ゆえに非行に走ってしまったり、自身の障害から生じる困難から不登校に至ってしまう…といったケース。入学時点で様々な問題を抱える生徒一人ひとりに対し、時には他の支援機関の協力を仰ぎながら卒業までサポートしていくことが本校の役割である。

子どもたちが学ぶ権利と居場所をどんな理由からでも守り、育む

Special Thanks

これまで支えてくれた全ての方へ…

＜名古屋市行政関係＞

いきいき支援センター 学習支援事業 区役所・支所 子ども教育相談「ハートフレンドなごや」 子ども適応相談センター 子どもの権利相談室「なごもっか」 子ども・若者総合相談センター コミュニティセンター 公民館 仕事・暮らし自立サポートセンター 児童館 児童相談所 市役所 生涯学習センター 障害者基幹相談支援センター 障害者就業・生活支援センター 障害者スポーツセンター 消防局消防署 青少年交流プラザ 青少年文化センター 市立高等学校 市立小学校 市立中学校 市立特別支援学校 人権啓発センター 玉野川学園 地域療育センター とだがわこどもランド ひきこもり地域支援センター ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業 発達障害者支援センター 保健所・保健センター なごや子ども応援委員会 なごや若者サポートステーション 若者自立支援ステップアップ事業 若者・企業リンクサポート事業

＜その他行政機関、法人等＞

愛知県私学協会 愛知県美容業生活衛生同業組合中部美容専門学校 愛知県立高等学校 愛知県警察本部少年課少年サポートセンター名古屋 愛知県立愛知学園 愛知教育大学 愛知少年院 愛知ハローワーク 伊勢ヶ濱部屋東海地区後援会 一般社団法人教育サポート協会 一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト 一般社団法人しん 一般社団法人 DIVE.tv 一般社団法人チャンス 一般社団法人日本ダイバーシティ推進協会 一般社団法人日本福祉協議機構 一般社団法人ぼれぼれの会 一般社団法人若者支援事業団 えた〜なる・すまいる NPO 法人 ICDS NPO 法人あおぞら NPO 法人 AdonisLife NPO 法人エコスマイル研究所 NPO 法人オレンジの会 NPO 法人起業支援ネット NPO 法人共同連 NPO 法人くらし応援ネットワーク NPO 法人グリーンハート NPO 法人こころとまなびどっとこむ NPO 法人こども NPO 法人再非行防止サポートセンター愛知 NPO 法人ささしまサポートセンター NPO 法人星槎教育研究所 NPO 法人全国こども福祉センター NPO 法人てら NPO 法人なごやがサポートみらい NPO 法人はれとけ NPO 法人ひだまりの丘 NPO 法人陽和 NPO 法人ポパイ NPO 法人ルーキーズ NPO 法人ワークスコープ NPO 法人わっぱの会 認定 NPO 法人おてらおやつクラブ 認定 NPO 法人セカンドハーベスト名古屋 尾張旭市役所 交野女子学院 学校法人河原学園未来高等学校 学校法人金城学院金城学院大学ボランティアサークル Gerbera 学校法人国際学園星槎名古屋中学校 学校法人三幸学園名古屋スイーツ＆カフェ専門学校 Cafe スマイル あんしん介護株式会社 株式会社愛知心理教育ラボ 株式会社アット・マークスタイル 株式会社 IWC 株式会社育伸社 株式会社ウィンパートナーズ ウェルビー株式会社 株式会社 M's work 株式会社久遠 株式会社クラゼミ 株式会社クリアコンサルタント 株式会社 jetwalk 株式会社スターシャル教育研究所 株式会社たなごころ 株式会社トライグループ 株式会社 Hearts ヒューマンアカデミー株式会社 bring up 株式会社 学びリンク株式会社 緑児童福祉センター株式会社 株式会社みんなの福祉村 株式会社リクルート 株式会社 LITALICO 国立武蔵野学院 公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団中学夜間学級 公益財団法人ロータリー日本財団 公益財団法人名古屋市文化振興事業団 公益財団法人名古屋 YMCA コーヒーハウスウINAS さんみつ 竹尾社労士事務所 多田法律事務所 社会福祉法人ひまわり福祉会 社会福祉法人愛知育児院 社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会 社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 社会福祉法人 AJU 自立の家 社会福祉法人共生福祉会 社会福祉法人昭徳会 社会福祉法人中央有鄰学院 社会福祉法人 TUTI 社会福祉法人豊橋市福祉事業会 社会福祉法人名古屋社会福祉協議会 社会福祉法人碧南市社会福祉協議会 社会福祉法人むつみ福祉会 社会福祉法人ゆたか福祉会 久遠寺 想念寺 本覚寺 心理相談室こころ 瀬戸少年院 W&H 知多市にほんごの会 豊ヶ岡学園 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部 名古屋少年鑑別所 名古屋家庭裁判所 名古屋保護観察所 ハーレーサンタ CLUB 名古屋 hair stage novel テララス 平田総合法律事務所 弁護士法人あいち刑事事件総合法律事務所 弁護士法人名古屋南部法律事務所 有限会社丸八介護サービス 有限会社山梨製麺所 有限会社湯浅建設 柳原通商店街振興組合

※今回掲載しきれなかった関係機関の皆さまは次号以降で随時ご紹介させていただきます

Bright Future

9年目を迎え考えた。

子ども達の過ごす未来は少しでも良くなっているのだろうか？

今ある社会は当然子ども達の未来へ繋がっている。大きな視点も当然必要であるが、目の前で苦しんでいる現実を私たちは見過ごしてはならない。今、この地域には多くの社会資源や制度が活用していけるようなネットワークが構築されつつある。コロナ禍の今だからこそ、子どもや家庭の状況、背景を理解し一般化せず個別ごとに丁寧な関わりを続けていくことで、子どもや家庭が本来持っている「力」を発揮できるよう、当事者中心の社会包括的支援を実現していく取り組みを続けていきたいと考えている。それが結果として子ども達が生きる未来が今よりもっと生きやすく、そして社会全体が明るく希望の持てるものになると信じている。

一般社団法人 愛知 PFS 協会
代表理事 星野智生

関係機関の皆さまから聞いてみた

PFS ってどんなところ？

中央児童相談所



信田 孝生 さん

Q1. PFS と初めて関わった時のエピソード

初めて PFS と関わったのは 5 年前。担当の児童が問題行動を起こし、学校を退学になりました。どこか良いフリースクールはないかと探している中で PFS のことを知りました。代表の星野さんから話を聞く中で、子ども達の気持ちを尊重し、のびのびと過ごすことができるような考え方や取り組みがとても素敵だと感じました。児童の様子は毎月細かく教えてもらい、今後児童にとってどのような支援をするか定期的に話し合い

を行うことができました。スタッフの方に丁寧に関わってもらったものの、その児童は問題行動を繰り返し、施設に入所することになりました。しかし、施設に入ってから星野さんは面会に行ったり、施設を出た後のケアも受け入れてくださいました。

Q2. PFS に期待する役割について

児童相談所が世帯に関わることはおおよそ月に 1〜2 回程度です。また、児童相談所に対して敬意を見せたり「大丈夫です」と言われたりすることもあり、なかなか家庭の状況が掴みづらいことがあります。PFS が高頻度で対応してもらえる中で子どもの心情の変化や、保護者の気持ち、家庭環境について教えてもらうことで、今後の関わり方が分かるだけでなく、子どもや親を養えるエンパワメントに繋がると思います。

Q3. PFS に対するメッセージ

皆さん熱心で優しく、子ども達のために何ができるかを考えて接してもらえるのでとても安心してお願いすることができます。また PFS へ訪問すると皆さん明るく対応してもらえるのでとても元気をもらえます。これからも子ども達が楽しく笑顔にできる環境を提供できるように一緒に頑張っていきたいです。

多田法律事務所

Q1. PFS と初めて関わった時のエピソード

8 年以上前かな、ある保護者からとてもやんちゃな子どもの相談がありました。ちょうど高校進学の前だったんですけど、お母さんも僕も本人も「行くところないなあ」って困り果ててしまってたんですね。そしたらある日、子どもの方から「なんかいい先生いるらしいよ！」って声をかけてくれて…。それで会ったのが星野さんでした。第一印象で、奥行きが深く包容力のある印象を僕も受けたんですね。その子も初めて大人を信用するようになっていった。そんなきっかけとなるような人でした。

Q2. PFS に期待する役割について

名古屋市の家庭訪問型相談支援事業の外部委員として呼んでもらった時から、PFS とはより深い繋がりになりました。星野さんは変わらずですが、スタッフの皆さんも星野さんと同様に想いや熱意がありましたね。これまでも実践されているように、これからも当時の印象そのまま、子どもが望むような支援、本人主体の支援、本人の自己決定というのを粘り強く続けて欲しいです。『子どもの伴走者』として走り続けて欲しいな。

Q3. PFS に対するメッセージ

子どもが相談に来るのを待っていたら始まらない。来ることができないならばこちらから行く。これはね、とても難しいことなんだけど、当事者の想いや意思表示を認めながら共に育ち、気持ちを育んでいけたらこんな素敵なお話ではないですか。今 PFS が実践している支援を今後も積み上げて欲しい。そして、これからも一緒に頑張っていきたいです。



多田 元 さん



福井 由佳里 さん

Q1. PFS と初めて関わった時のエピソード

継続的に支援している在宅家庭で、保護者の SOS 電話に別件対応で当職が対応できなかった際「よりそい訪問サポートなごや」の方に話を聞いてもらいました。」と保護者から聞き、PFS の制度を知りました。

※1 愛知 PFS 協会が受託運営している事業の 1 つ

Q2. PFS に期待する役割について

無理であることは承知ですが、依頼しているケースが委託一時保護や契約入所となった場合も引き続き利用できる支援体制がある、子どもにとって特定の安心できる大人との関わりが継続できて良いと考えています…。 ※2 現在別事業で対応可能となっています。

Q3. PFS に対するメッセージ

児童相談所だけの支援では家庭関係調整を十分に行うことは難しいため、子ども支援に加えて、必要に応じて保護者の方にも話を聞いて頂くなど、手厚いフォロー体制に感謝しています。

〜PFS に対するメッセージ（抜粋）〜

- 日頃から子ども達に関わっていただきありがとうございます。子どもとの関係づくりもうまく驚くばかりです。今後も頼ってしまうことが多いと思いますが、よろしくお願いたします。（藤本菜奈さん）
- 児童相談所に関わる子ども達（保護者も）は皆傷つきながらも生き抜いています。いいモノをそれぞれの未来に伝えていけるように、これからも PFS さんと手を取り合って子ども達を支援していきたいですね。よろしくお願いします。（山本幹夫さん）

瀬戸少年院



片山 隆太 さん

Q1. PFS と初めて関わった時のエピソード

星野さんには、毎年在院者向けの講話を依頼しています。私はそこで初めて PFS の存在を知りました。少年院に入院している子どもたちの中には、過去の成育歴からか、「大人」や「先生」に対しての不信感や苦手意識を持っている子が多いと感じていますが、星野さんの周りにはそのような子どもたちでも安心して自己開示できるような空間があります。講話を聴いて自然と「名古屋みらい高等学院」に興味を持つ子どもが多くいますし、私自身も子どもたちの社会復帰支援について考える中で、「名古屋みらい高等学院」に送り出したいと思うようになりました。

Q2. PFS に期待する役割について

非行や犯罪はその人たちの生きる世界を狭くしていきます。そのため、居場所を見つけて一般社会に定着するのが困難なのは言うまでもなく、彼らを積極的に受け入れてくれる機関が少ないと感じています。彼らの受け入れが簡単ではないことは重々承知していますが、子どもたちの更生を願い支える者として、PFS に、子どもたちの就学先としての役割に加えて、「一つの居場所」、「社会内での受け皿」としての役割を期待しています。

Q3. PFS に対するメッセージ

私たちの仕事は、犯罪や非行をした子どもたちを教育して更生に導くことであり、特に彼らの犯罪的傾向を改善し、社会生活に適応するために必要な知識や能力を習得させることに力を入れています。彼らが自己の問題点や特性、被害者の心情、様々な内なる葛藤から目を背けることなく、社会内で活躍することを期待していますが、そのためには社会内での継続的な支援が重要だと考えています。これからも少年院（施設）から PFS（社会）へ支援のバトンを渡していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

※上記コメントは各機関からの公的なものではなく、あくまでそれぞれの担当者さまからの言葉となります。

ご協力ありがとうございました。